

えよがせ

第26号

令和2年11月15日発行



社会福祉法人
川西福祉会

特別養護老人ホーム 在宅介護支援センター
短期入所生活介護事業所 居宅介護支援事業所
通所介護事業所(地域密着型・通所型サービスA)

～ 基本理念 ～

- ご利用者様の人権とプライバシーを尊重し、「その人らしい生活」が送れるよう支援します。
- ご利用者様お一人おひとりの生活の質を高め、安心・安全・快適に満ちた暮らしの創造を目指します。
- ご利用者様およびご家族様との信頼関係を深め、ご満足いただけるサービスを提供します。
- 地域との交流に努め、地域社会における高齢者福祉サービスの拠点を目指します。



ごあいさつ

理事長 二井 孝良

そよ風の森に対しましては、皆様方より格別なるご支援とご協力を賜り、深く御礼を申し上げます。

さて、今年には忘れられない一年になりました。近年にない少雪に助けられ、少しは余裕のある冬を過ごすことができ、あとは春の訪れを待つだけという矢先に、新型コロナウイルス感染症という思いもよらない病魔が上陸いたしました。当初の予想をはるかに超え、瞬く間に日本全国に広がり、国全体が麻痺状態に陥ってしまい、何をしてもよいのやらわからず、不安と苦悩の連続でありました。

また、施設におきましては、ご利用者様をはじめ、ご家族の皆様には大変なご心配とご不便をおかけいたしました。特に、長期入所の皆様へのご面会については、中止や一部解除を繰り返して、現在も制限をさせていただいておりますが、これも入所の皆様の安全と安心のためですので、引き続きご理解とご協力を賜りたく、お願いを申し上げます。

ところで、少子高齢化という言葉が頻りに聞くようになってから久しいわけですが、現在の高齢者介護の基礎となる老人福祉法が昭和三十八年に制定され、その後、老人医療費の無料化、老人保健法の制定、老人福祉法の改正等、介護に対する対策が施行されて来ました。これは、急速的な高齢化が進む中での要望・要請に対しての国の施策であるわけですが、その集大成が平成十二年四月から実施された介護保険制度であります。施行されてから二十年経過したわけですが、その間、医療技術の高度化等で平均寿命が延び、さらなる高齢社会を迎えるに至り、今後、要介護者の急増が予測されております。

そのような中、最近の国の試算によりますと、令和八年には介護士の数が不足し、充実した介護が受けられなくなる懸念があるとのこと、我々にとりましても由々しき事態であります。しかし、いくら時代が変わろうとも、「福祉は人対人。互いに助け合い、支え合う」という理念を忘れることなく、これからも当町に於ける中核的老人福祉施設としての役割を果たすとともに、町民の皆様より信頼していただける施設になれるよう、役員員一丸となって頑張っております。

つきましては、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

川西福祉会役員

理事長 二井 孝良

理事 西山 晋隆

理事 松田 正子

理事 片倉 良子

理事 栗田 純子

理事 米野 邦宏

監事 渡部 順一

監事 佐藤信二郎

川西福祉会評議員

伊藤 博

穂保 丈助

伊藤 利子

多田 良子

高根 功

長澤 政典

奥山 朱珠

令和元年度 社会福祉法人川西福祉会決算報告書

(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

【貸借対照表】

令和2年3月31日 現在

(単位：円)

【事業活動計算書】

(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

(単位：円)

資産の部	
勘定科目	当年度末
流動資産	222,288,859
固定資産	779,734,618
資産の部合計	1,002,023,477
負債の部	
勘定科目	当年度末
流動負債	17,674,290
固定負債	65,600,985
負債の部合計	83,275,275
純資産の部	
純資産の部合計	918,748,202
負債及び純資産の部合計	1,002,023,477

勘定科目	本年度決算額
サービス活動収益計	525,593,515
サービス活動費用計	532,892,920
サービス活動増減差額	△ 7,299,405
サービス活動外収益計	5,368,189
サービス活動外費用計	0
サービス活動外増減差額	5,368,189
当期活動増減差額	△ 1,931,216
前期繰越活動増減差額	312,078,044
当期末繰越活動増減差額	310,146,828
その他の積立金取崩額	
その他の積立金積立額	11,500,000
次期繰越活動増減差額	298,646,828

新任職員紹介

ご利用者様の笑顔のために頑張ります！



機能訓練指導員 (作業療法士) 勝見 清美



介護員 濱田 紀子



介護員 石栗 碧



看護師 齋藤 菜美



看護師 阿部はるか



管理栄養士 鈴木紗友里

笑顔の花 満開です



荘内の桜でお花見

創作活動



HAPPY BIRTHDAY!

お誕生日会 🎂

特養

手作りお神輿で
ワッショイ



わたあめ うめなあ〜

荘内夏祭り

狙いを定めて商品ゲット!



七夕 短冊に願いを込めて★

祝 敬老会

いつまでもお元気で



祝敬老会
健やかに敬老の日を迎えられ
心より喜び申あげます

リハビリの様子



作業療法士と一緒に



活動前の準備運動



ボールを使って体操！真剣です

ボールを投げて
めざせ!!ピンゴ~!
高得点者 続出です!



ゆっくりお風呂 ゆったり個室を
ご用意しております



ショートステイ



創作活動

いや~おもしろいぞ~
体を動かしておつきい風呂さ入って
みんなどしゃべって楽しいぞ~!



今年もやってきました!梅小鉢!
1年ぶりの再会に喜びもひとしお

答えはその先に!

デイサービスセンター

空飛ぶカエル



両足で紙をたくり寄せて

箱の下になぞなぞや
計算問題が隠れています

答え:ブランコ

わかさぎ釣り



バスケットボウリング?



緑色のスリッパに
カエルをつけて
足を振り上げて・・・
"エイ"
跳ばした距離を測ります

ピンポンスリッパ卓球



本物のボウリングピンを使用
当たるといい音が出ます

物当てクイズ

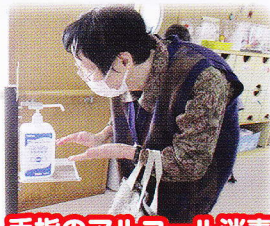


なんだべなあ?
くにかくにやしてる...??

答え:糸コン

そよ風サロン

そよ風サロンでは新型コロナウイルスの対策も
しっかり行いながら、元気に活動しております！



手指のアルコール消毒



お食事の時間



運動会



赤白頑張れ！



レクリエーションは
みんなで応援!!



体操の時間



創作活動ぶどう狩り



「茶処そよ風」ご利用者の皆様へ

日増しに寒さが増してきましたが、皆様お変わりなくお過ごし
でいらっしゃいますか。

3月より自粛させていただいております「茶処そよ風」ですが、
令和3年3月まで休止させていただくことになりました。

毎回楽しみにご参加いただいた皆様には、大変申し訳ござい
ません。コロナ禍が一日も早く終息し、皆様とお会いできる日を
楽しみにしております。

どうかお体を大切にお過ごしください。

「茶処そよ風」 スタッフ一同

「在宅介護支援センターそよ風の森」

在宅で暮らすご利用者様及びご家族様が、介護サービスを利用しながら住み慣れた地域で生活できるように支援させていただいております。

身近な相談窓口として、お気軽にご相談ください。ケアマネジャーとソーシャルワーカーがそれぞれ対応させていただきます。

ぜひご相談ください!!

- ・介護のことで悩みがある
- ・誰に相談したらいいのかわからない
- ・川西町にはどんなサービスがあるのかわかりたい
- ・介護保険や福祉サービスを利用してみたい



嘱託医の紹介

そよ風の森では4名の先生方にお世話になっております。
とてもお優しく、気さくな嘱託医の先生方をご紹介します。

先生へのご質問

- ①ご出身地
- ②現在のご勤務先とご専門分野（またはお役職）
- ③そよ風の森での嘱託医歴
- ④ご趣味または生きがい
- ⑤座右の銘
- ⑥そよ風の森の印象

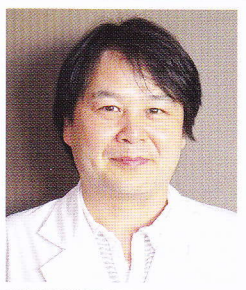
横澤 秀一 先生



- ①長井市下伊佐沢
- ②公立置賜南陽病院 院長、内科
- ③19年目
- ④家庭菜園、海釣り、囲碁、卓球
- ⑤「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」
- ⑥きちんと挨拶をされる、明るい職場だと思います。
また、職員が入所者に優しく接していて、好感が持てます。



ひがし 東 敬之 先生



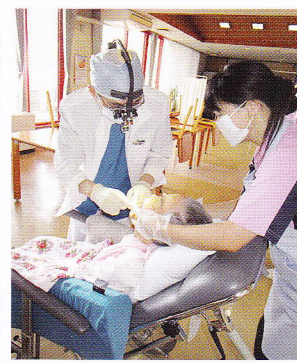
- ①山形市
- ②公立置賜総合病院 外科部長、外科、乳がん学会専門医（以前は腹腔鏡手術を中心に
行っておりましたが、今は乳腺疾患の診療を主に担当しています）
- ③19年目
- ④おいしいものを食べる（B級グルメ含）、海外ドラマ・海外映画鑑賞（主にアメリカ）
- ⑤外科医としては「鬼手仏心」。50年生きてきての教訓は「反省は時に深く必要だが、
自分のしたことに後悔はない」
- ⑥そよ風の森に来ると、ほっとします。暖かい空気を感じ、こころが和みます。若干解釈の違い
があるかもしれませんが、儒教の五倫にある「長幼の序」を感じます。



金子 信一郎 先生



- ①川西町上小松
- ②長十歯科医院 院長、歯科、小児歯科専門医
- ③9年目
- ④趣味と言えるかどうかですが、小学生の時に練習したピアノを思い出し、認知症予防
になればと、3年前から“おとなのピアノ”レッスン中です。
- ⑤常に“積極的な心構え”PMAでいたいと思っています。
（PMAとは、Positive,Mental,Attitudeの略）
- ⑥皆さん、明るく元気に入所者の方々に接しておられるので、何よりです。



米野 宏和 先生 (米野荘長の息子さんです)



- ①川西町中小松
- ②山形県立こころの医療センター（鶴岡市）、精神科、認知症サポート医
- ③4年目
- ④ギター（病院内でバンドを組んでいます）、温泉巡り
- ⑤一途一心
- ⑥皆様、ほんとうに親切にしてくださり、とても居心地がいいです。
今後ともよろしくお願い致します。



莊長室より



莊長 米野 邦宏

今年も残すところ約一月半となりましたが、この時節になりますと「一年はあつという間で、年々早く感じる」というフレーズを方々で耳にします。斯くいう私もそのことを実感している者の一人ですが、実は洋の東西を問わず、ある法則によってほとんどの方がそう感じるのだそうです。

その法則を発見したのはフランス人のジャンネという心理学者で、そこから「ジャンネの法則」と呼ばれますが、人間は歳を重ねるにつれ、自分の人生における「年」の比率が小さくなるため、体感として一年が短く感じられるとのこと。例えば、一歳の時に感じた一年の長さを「1」とすると、五歳の時はその1/5、十歳の時は1/10となり、それぞれ一歳の時より五倍、十倍早く感じるようになります。つまり、自分の年齢分だけ一年の比率が小さくなるので、年々時間が短くなったように感じるというわけです。なるほど、そう言われてみれば、小学校の六年間ほとんど長く感じられたものです。

閑話休題、余談が過ぎましたが、今年を振り返るにあたり、やはり新型コロナウイルス感染症のことに触れないわけにはまいりません。

そよ風の森では、今年の初めより日本各地で感染が広まって以降今日に至るまで、各行政機関からの情報を細大漏らさず収集するとともに、折に触れ産業医及び保健所より指導を仰ぎ、その対策と予防に万全を期してまいりました。もちろん、現在も継続して取り組んでおりますが、これから本格的に寒い季節を迎えるにあたり、さらなる感染拡大が懸念されるところであります。

さて、それはそれといたしまして、新型コロナウイルス問題により生活様式や習慣が大きく変化したり、今までの在り方に疑問を抱いていたことが顕在化する(たとえば、軽微な案件の会議は開かずとも書面決議で十分という考え方など)一方で、いろいろと気づかされたこと、あるいは学んだことなども多々あったのではないのでしょうか。

当施設におきましては、手作りマスクのご寄付や励ましのお言葉等々、多くの善意をお寄せいただき、改めて人さまのご恩恵のありがたみを痛感すると同時に、社会の中で人と人が支え合う素晴らしさに福祉の原点を垣間見た思い

です。

また、今回の騒動に関連して「クラスター」「ソーシャルディスタンス」「アラート」など、耳慣れない言葉が人口に膾炙しましたが、そのひとつに「ステイホーム」というものがありました。ご存知の通り外出しないで、家にいなさいというものです。

私事になりますが、その言葉を聞いた時、久しく間違っていた「帰家穏坐」という禅の教えが頭に浮かびました。この教えを直訳いたしますと「家に帰って穏やかに座る」という意味になりますが、広義的には「人には居心地がよく、心から安らげる空間が必要である。それが家であり、そこでひとり穏やかに座禅をし、自己を見つめることによって生かされていることのありがたさを知り、そこから活力や向上心といったものが生まれてくる」というものです。

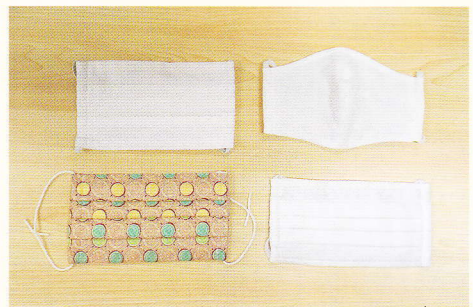
つまり、換言すれば「家こそが人としての営みの原点であり、幸せにいるための、あるいは幸せになるための基盤ということになります。

よく特養ホームを紹介するときに「施設は家庭の延長」という表現を用います。もちろん、そのことに異論を挟む余地はありませんが、「帰家穏坐」の教えに照らし合わせるならば、施設は家庭の延長ではなく、家そのものであり、我々職員はご利用者様のお邪魔をして仕事をさせていたでていることになりました。

実は、この発想こそが施設職員に求められるものと考えます。と申しますのは、施設の中ではご利用者様が主役であり、われわれ職員はあくまでもサポーターにすぎず、ご利用者様が安心して快適にお暮しできるように、たえずご利用者様本位の考えに立ち、できる限りのお手伝いをさせていただくことが使命にほかならないからです。であるならば、その意識を持つことは施設職員として必要不可欠であり、そこから「介護をしてあげている」ではなく「介護させていただいてる」という、福祉の淵源に則した考え方が芽生えてくるのだと思います。

瞬く間に不安と混乱の世の中に変えてしまった新型コロナウイルス感染症ですが、「帰家穏坐」の原点に立ち返って考えてみることを大切さを教えてくれる結果となったことは、せめてもの救いといえるのかもしれない。

心温かい手作りマスクのご寄付 誠にありがとうございました



新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた四月、マスクの調達がままならない状況下、「夢倶楽部」と中小松在住の匿名の方より手作りマスクを、また、地元「きららクラブ」様にはサージカルマスクをそれぞれ寄付頂きました。心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策に 取り組んでいます



Aー検温モニタ「KAORIO」を導入し、非接触・短時間での検温ができます。



オンラインによるご面会を実施しております。パソコン画面に映るご家族様に驚かれながらも、久しぶりの再会に心も会話も弾まれたご様子です。

玄関出入り口に足踏み式手指消毒を設置しています。



